

ホールインワンを狙って

おおだいら
大平

だれでも親しめるスポーツを通じて、心身の健全な発達と、交流による親睦を深めることを目的に、平成26年からグラウンドゴルフ大会を実施しています。

今年も6月18日(日)に計画し、梅雨の時期であるため、雨の心配と反対に天気の良い場合の暑さ対策に配慮しながら実施しました。

参加者は、小学3年生から90歳超の方等60名で、皆元気に楽しくプレーしていました。

結果は、日頃からグラウンドゴルフに親しんでいる高齢者クラブの方々の好成績が目立ちました。また、ホールインワンも多数出て、用意した賞品で足りるか心配になるほどでした。

今後も継続して実施し、地域の交流を更に深めたいと思います。



秋祭り

こうやしゆく
高野宿

コロナ禍により昨年は8月の夏祭りを延期し、11月12日(土)に3年ぶりにお祭りを開催しました。夏祭りとは、また違った雰囲気ではありましたが、模擬店では収穫時期とも重なり、新米、手打ちそば、さつまいも、野菜など秋ならではの農産物がたくさん出品されました。催し物では和太鼓の演奏や、子供達が太鼓の指導を受けて、打つ太鼓の音が秋の空に響き渡りました。久々のお祭りに地域の皆さんが交流をはかり、子供も大人も楽しんだ一日でした。

今年も夏祭りが開催できることを願います。



ふれあい広場

こがわ
小川

当自治会では平成29年10月から、シニア世代の方たちの孤立や運動不足解消の一助として、毎月第1第3火曜日の午後1時30分から、集会所でふれあい広場を開催しています。費用は無料です。

紙芝居・合唱・頭と体のちょこっと体操とおしゃべりの会や輪投げで盛りあがることもあります。

参加者は女性が中心ですが、唯一の男性は美声の持ち主で、メンバーから大人気です。現在、お仲間を募集中です。



復活した「くじらの大ちゃん」

ひらいそ
平磯

人は僕を「くじらの大ちゃん」と呼ぶ。40年前に付けられた名前だ。東日本大震災のあと、僕は傷つき砂浜に置かれた、そして風雨の中で12年耐えつづけてきた。その間、全世界で流行したコロナウイルスの影響もあり、僕の存在も忘れられそうになった。それから12年、今日(6月17日)心と体の傷も癒えやっと海に戻る日が訪れた。大勢の人が見守る中、美乃浜学園の子供達に導かれゆっくりと砂浜を歩んだ。梅雨の真ただ中にもかかわらず、空高く、海青く、風清く、今日だけは太陽も僕を祝福してくれている。僕が生まれた時に会った子供達はもう40代だろうか、今日その時の子供達も大きくなって大勢来てくれている。今年の夏の光景が僕には想像出来る、赤・黄・青、砂浜いっぱい咲くパラソル。それを見ながら僕は海の上で待つ、子供達が会いに来るのを。

くじらの大ちゃんより。



ひたちなか市制30年が経過しようとしている。自治会として84自治会(今年1自治会増)が登録しているが、今までの自治会長はすべて男性である。しかし、今年待望である初めての女性自治会長が誕生した。何かと注目度が高く、プレッシャーはあると思うが、パイオニアとして今後の女性活躍の場を広げてほしいと期待する次第です。

自治会についての詳細情報は、市のホームページにも掲載しています。
https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shiminkatsudo/m_shimin/1003739/index.html



ひたちなか市 自治会連合会だより

第74号

発行日/2023年8月25日
発行者/ひたちなか市自治会連合会
広報委員会
(事務局:ひたちなか市市民活動課)
TEL 273-0111

地域の“つながり”復活

新型コロナウイルス感染症が5月8日(月)から感染症法上の5類に位置付けられました。様々な行動制限もなくなり、以前の日常が戻りつつあります。

多くの自治会では約4年ぶりに夏祭りを開催するなど、コロナ禍で中止せざるを得なかった活動が再開されています。安全安心な暮らしのため地域のつながりは重要です。人と地域の大切なつながりを築いていく自治会活動の一部を紹介します。

上高場自治会



お母さんのための子育てサロン「しいのみ」

毎日子育てを頑張っているお母さんに、親子でリラックスできる場所をつくりたいと、17年前に「しいのみ」を立ち上げました。現在に至るまでには、スタッフ数の変化や時代の流れもあり、運営方法も変わってきています。しかし一貫して変わらないのは、地域でお母さんを孤立させないことです。「しいのみ」でママ友を作り、ふぁみりこ出前保育で子育て情報を得て、スタッフとの何気ない会話でクスッと笑い、リラックス。

7月5日(水)のサロンでは、シャボン玉で遊んだり、七夕が近かったこともあり短冊を書いたりしました。

「しいのみ」は、これからも子育て世代のお母さんを支え、応援していきます。

多世代グラウンドゴルフ大会

6月24日(土)、はしかべ第一公園で4年ぶりにグラウンドゴルフ大会を開催しました。前回の参加者を超える55人が参加し、子どもから大人までグラウンドゴルフを通じて交流を深めました。

大会を運営する文化・体育委員会は未経験者が多いことから、事前体験会(練習日)を6月18日(日)に設定し、経験者から手ほどきを受けました。

また、両日とも会場の一角にけん玉などの昔なつかしのおもちゃも用意し、世代を越えて盛り上がりました。協力いただいた高齢者クラブ、子ども会の皆さまありがとうございました。

はしかべ自治会



津田第一自治会



高齢者の集い

7月2日(日)に3年ぶりとなる「高齢者の集い」を開催しました。コロナ禍で外出を避けた生活に慣れた高齢者が多いことから、元気や笑顔を取り戻すため、げんき-NETひたちなかを通して健康体操でお馴染みの「古谷信義先生」に講師を依頼しました。古谷先生の講演では、生活に関する情報量の豊富さに驚き、数多くの「ながら体操」を交え、常に笑いが絶えないひとときを過ごしました。ビンゴ大会も実施し、「今までに無い景品で良かった」など、終了後は「来てよかった」、「こんなに爆笑したのは久しぶり」、「また聞きたい」という声を多く頂きました。

新任自治会長研修会 5月25日(木)



柳沢美田多自治会
会長 **小林 秀明**

私は、自治会活動に参加して5年目となり、うち2年間は会長の補佐役として携わってきました。今回、新任自治会長研修会に参加して、自治会活動の内容について再確認させていただきました。新たに得られた知識を今後の自治会活動へ反映していきたいと思っております。

さて、昨年までは、新型コロナウイルスの影響で、自治会活動も中止または縮小を余儀なくされてきました。今年に入り、社会全体の活動がコロナ禍前の状態に戻りつつあることを受け、当自治会でも活動内容を徐々に以前の状態に戻していこうとしています。

しかし、会員の高齢化や自治会活動の一翼を担っていた子ども会が少子化により活動休止となっており、積極的な参加が期待できない現状です。このような状況から、今後は、他自治会の活動も参考にして、活動内容の見直しを含め役員間で活発な議論を重ねていきたいと思っています。



金上自治会
会長 **大内 由利子**

会長になって2か月が過ぎました。昨年、11月26日に自治会連合会主催のリーダー研修会があり、「多様な人材の登用・確保」についてパネリストとして参加させていただきました。

自治会長に占める女性の割合は全国的に見てもまだ低く、茨城県内の平均は6.2%で、ひたちなか市においては0%とのこと。そのような研修を受けた後、令和5年度になって会長になり、感じていることは、名義変更や補助金交付申請等の事務処理が多いということです。「安全・安心で暮らしやすい地域づくり」を目指して活動していく事を考えた時、新任自治会長研修会での行政からの制度・事業等の説明を受け、年間の活動を行う上で有意義な研修であったと思います。今後は行政との連携を密にして、女性会長が増えることを願いつつ自治会活動に取り組んでいきたいと考えています。

新任自治会長紹介

下記の方々が新たに自治会長に就任しました。令和5年度(敬称略)

- 大内 由利子 (金上)
- 川又 清明 (枝川)
- 山本 敏男 (堀口)
- 黒沢 克己 (勝田本町)
- 榊 末 (足崎)
- 深川 勝美 (足崎団地)
- 河野 英市 (佐和)
- 砂川 和明 (稲田)
- 住谷 美秋 (上高場)
- 岩城 秀文 (高野小貫山)
- 住谷 光男 (高野原)
- 大山 悦郎 (東大島)
- 鹿志村 賢一 (はしかべ)
- 照沼 行男 (高場南)
- 稲野辺 廣 (小川)
- 飛田 英夫 (関戸町)
- 小林 秀明 (柳沢美田多)
- 谷田部 勝也 (湊中央)
- 飯島 隆 (田宮原)
- 薄井 修 (磯崎)

令和5年度 ひたちなか市自治会連合会総会

令和5年度自治会連合会の総会が、4月27日(木) ホテルクリスタルパレスで開催されました。坂井久彦連合会会長の挨拶後、来賓の渡辺恭秀ひたちなか警察署長から挨拶がありました。

議事では、令和4年度の事業報告と決算報告が原案通り承認され、令和5年度の事業計画と予算についても慎重に審議され、承認されました。

今年度特筆すべきことは、「自治会が1つ誕生し、84自治会となったこと」、「地域での女性活躍が期待される中、女性会長第1号が誕生したこと」が挙げられます。

議事終了後、大谷明市長から挨拶があり、84自治会の市政協力員への委嘱状の交付及び18自治会の退任自治会長への感謝状贈呈などが行われ閉会しました。



自治会(長)の活動報告

～日頃から災害への備えを～ 東石川一丁目自治会

記録的大雨に見舞われた前日とは打って変わった青空の下、6月4日(日)の午前10時から、自治会自主防災会令和5年度防災計画の目玉「水消火器による初期消火訓練」を実施しました。

会場は、自治会が管理している西久保公園で、この日、朝から行われた地域清掃、除草作業後に自主防災会消火器班を中心とした10名が受講し、ほとんどの方が初めて消火器に触れました。

講師の消防本部皆川消防士より「安全ピンを抜く、ノズルを火元に向ける、レバーを握る」の3つの基本動作について説明があり、火元に見立てた炎印の標的を消火する(水消火器にて倒す)訓練を実施しました。

全員の訓練終了後、防災倉庫にある資機材の整頓状況を見て頂き、良好の評価をいただきました。その中で、「エンジン式チェーンソー」の取扱いについてご教示を頂きました。特に「キックバック(チェーンソーそのものが人を目がけて飛んでくる)」という現象では大げがをする恐れがあるとのこと、改めて訓練の大事さを肌で感じた一日となりました。

秋の訓練では「心肺蘇生法とAEDの取り扱い」を実施する予定です。

2023年は関東大震災から100年です。また、南海トラフや首都直下地震など大きな災害が予想されています。「いざという時に頼りになる東石川一丁目自治会」をめざして努力を続けてまいります。



自治研修懇話会

1月26日(木)、ホテルクリスタルパレスにおいて、当連合会主催の自治研修懇話会が実施されました。講師は、千葉県成田ニュータウン自治会連合会事務局長の伊藤幹夫氏、演題は、「自治会の課題解決にどう向き合うか～自主防災組織と避難行動要支援者支援～」でした。

自治会の課題である高齢化による担い手不足、加入率低下への向き合い方として、自主防災組織に着眼し、まずは自助・共助・公助の観点から小さい防災訓練を行うこと。あわせて自治会のエリアでの連携が必要となることから、避難行動要支援者支援から始め、複数人での役割分担や個別避難計画を作るなど、支援者の輪を広めることが重要であることを学びました。

その後、グループごとに、各自治会の課題と取組について意見を出し合い、有意義な研修が終了しました。



回覧板と加入促進のぼり旗を配布しています

回覧板のデザインをリニューアルし、素材を抗菌仕様のものにしました。新しい回覧板は市民活動課(自治会連合会事務局)で配布しています。

また、自治会加入促進のぼり旗を各所に設置しています。雨風で傷んだ加入促進のぼり旗がありましたら、お近くの自治会にお知らせください。

